

発行日 2017年6月

発行所 特定非営利活動法人いこま国際交流協会

TEL 090-8237-2463 (夜間のみ)

E-Mail info@ikoryu.net ホームページ www.ikoryu.net



ねんめ かつどう Ikoryu 1年目の活動 スタートします

2006年7月8日に非営利活動法人いこま国際交流協会が発足して1年目の年を迎えました。昨年度の総会は本協会の10周年を記念してたくさんの会員さんと共に、いこま国際交流協会のこれからの活動方針を確認するとともに会員相互の交流を深めることができたことを大変うれしく思っています。

本年度もすでにハロハロ☆デティクラブ等の活動がスタートしていますが、7月8日(土)に総会を開催し、昨年度の活動を振り返るとともに本年度の活動について確認したいと考えています。多くの会員の皆様参加をお願いいたします。

**だい かい
第12回**
**とっかつ かくさいこうりゅうきょうかいそうかい
(特活)いこま国際交流協会総会**
にちじ ねん がつ にち じ
(日時) 2017年7月8日 15時~
ばしよ たわらぐちちやうじ ち かいかん
(場所) 俵口町自治会館
いこまし たわらぐちちやう
生駒市俵口町
※コーナン生駒店向かい
いこまだいじゆんかん そとまわ
生駒台循環 外回り
はん な ちゆうおうびやういんまえ げ しゃ
「阪奈中央病院前」下車



ハロハロ☆ikoryu かいさい オーストリア day開催しました

3月5日(日)にハロハロ☆ikoryu オーストリア dayを開催しました。講師はオーストリア出身で本会理事でもあるリングホーファー・マンフレッド先生でした。「ウイーン風カツレツ」「野菜サラダ」「セモリナ粉の団子入りスープ」を作りました。材料の中にはリングホーファー先生が、地元のオーストリアから取り寄せたカツレツのパン粉やスープの素もあり、ヨーロッパの味をみんなで味わうことができました。楽しく調理した後は、



リングホーファー先生よりオーストリアの地図を見ながら食文化や男性の正装についてのお話をお聞きました。特に先生の住んでいたところはとてもきれいでおいしい水が流れているということが印象的でした。また、おいしいホットワインの作り方も教えていただきました。今回のハロハロ☆ikoryuには、子どもたち



もたくさん参加していました。子どもたちは、ウイーン風カツレツをおいしそうに食べていました。レシピはいこま国際

交流協会のホームページ (www.ikoryu.net) に掲載しています。ぜひ、みなさんもこのウイーン風カツレツをお家で作ってホットワインと共に召し上がりください。

ハロハロ☆デティクラブ ことし はじ **今年も始まりました**
 市民が選択する市民活動団体支援制度マイサポ登録中どうろくちゅうです。
 NO.18 です。皆しえんさんご支援よろしくお願ねがいいいたします。

2017年度 ねんど **ハロハロ☆デティクラブ** & ちゅうがくせい こうこうせい **中学生・高校生ミーティング**

第1回 5月、ミャンマーの国くにについてのお話はなしをお聞ききし、ミャンマーの踊りおども教おしえていただきました。



第2回 6月、コートジボアールの昔話むかしばなしの紙芝居かみしばいやダンスや楽器がっき（ジャンベ）を教おしえていただきました。工作こうさくは、マラカスをつくってジャンベのリズムあに合わせて踊おどりました。



ちゅうがくせい こうこうせい **中学生・高校生ミーティング**

Program for For junior high and high school students

がいこく 外国にルーツを持つ子どもたちの学がくしゅう習のお手て
つだ 伝いと日本語指導にほんごしどうを行います。

がくしゅう 学がくしゅう習のあとには、おしゃべりタイム。

がっこう 学校での悩なやみや友ともだちのこと、今いま考かんがえていること
 とを思おもい切り語かたり合あいましょう。

おな 同おなじ悩なやみを経けい験けんした先せん輩ばいたちの経けい験けん談だんも聞きいて
 みよう。

時間：15:00～16:00

場所：俵口自治会館 さんかひ むりよう 参加費：無料

デティクラブと同時開催どうじかいさい

ほごしや 保護者プログラム Program for parents

ハロハロ☆ミーティング

にほん 日本こそだで子育てこそだしているママたち、みんなで
じゆう 自由におしゃべりしましょう。

せんばい 先輩ママや先生せんせいたちが、あなたの「ことば」
おうえん で子育てを応援おうえんします。

さんかひ むりよう 参加費：無料



がいこくも 外国にルーツを持つ

こどもたちの交流会を開催！！

さくねんど 昨年(こ)度(だい)い(こ)ま(ま)国(こく)際(さい)交(こう)流(りゅう)協(きょう)会(かい) 10周年(しゅうねん)に(む)向(む)け(け)て(て)の(の)学(がく)習(じゅう)会(かい)の(の)中(な)か(か)で(で)子(こ)の(の)成(せい)長(ちやう)に(に)伴(ばん)っ(っ)て(て)親(おや)子(こ)の(の)意(い)思(し)疎(そ)通(つう)の(の)し(し)に(に)く(く)さ(さ)や(や)周(しゅう)圍(い)の(の)子(こ)も(も)た(た)ち(ち)の(の)人(にん)間(げん)関(かん)係(けい)、教(きょう)員(いん)と(と)保(ほ)護(ご)者(しゃ)の(の)関(かん)係(けい)な(な)ど(ど)様(さま)々(ざ)な(な)課(か)題(だい)が(が)出(で)さ(さ)れ(れ)ま(ま)し(し)た(た)。こ(こ)れ(れ)ら(ら)の(の)課(か)題(だい)を(を)解(かい)決(けつ)す(す)取(と)組(ぐ)み(み)と(と)し(して)ハ(ハ)ロ(ロ)ハ(ハ)ロ(ロ)☆(☆)デ(デ)ティ(ティ)ク(ク)ラ(ラ)ブ(ブ)で(で)中(ちゅう)学(がく)生(せい)・高(こう)校(こう)生(せい)ミ(ミー)ー(イー)テ(テ)ィ(ィ)ン(ン)グ(グ)を(を)始(は)め(め)ま(ま)し(し)た(た)。さ(さ)ら(ら)に(に)お(お)互(たが)い(い)の(の)関(かん)係(けい)を(を)深(ふか)め(め)る(る)た(た)め(め)に(に)い(い)こ(こ)ま(ま)国(こく)際(さい)交(こう)流(りゅう)協(きょう)会(かい)で(で)は(は)、本(ほん)年(ねん)度(ど)よ(よ)り(り)中(ちゅう)学(がく)生(せい)・高(こう)校(こう)生(せい)交(こう)流(りゅう)会(かい)を(を)始(は)め(め)ま(ま)し(し)た(た)。対(たい)象(しょう)は(は)小(しょう)学(がく)校(こう)高(こう)学(がく)年(ねん)い(い)じ(じ)ょう(じょう)の(の)外(がい)国(こく)に(に)ル(る)ー(ー)ツ(ツ)を(を)持(も)っ(っ)子(こ)も(も)た(た)ち(ち)で(で)す(す)。第(だい)1(いち)回(かい)目(め)を(を)4(よ)月(げつ)2(に)3(さん)日(にち)(にち)に(に)開(かい)催(さい)し(し)ま(ま)し(し)た(た)。

今(いま)回(かい)は(は)お(お)菓(か)子(し)作(つく)り(り)を(を)通(とお)し(して)て(て)の(の)交(こう)流(りゅう)会(かい)で(で)し(し)た(た)。小(しょう)学(がく)生(せい)の(の)こ(こ)ろ(ろ)デ(デ)ィ(ィ)ク(ク)ラ(ラ)ブ(ブ)に(に)参(さん)加(か)し(して)い(い)た(た)子(こ)も(も)た(た)ち(ち)



ち(ち)も(も)中(ちゅう)学(がく)生(せい)に(に)な(な)る(る)とな(な)か(か)な(な)か(か)会(あ)う(う)こ(こ)と(と)が(が)で(で)き(き)ま(ま)せ(せ)ん(ん)。久(ひさ)し(し)ぶ(ぶ)り(り)に(に)会(あ)っ(っ)た(た)子(こ)も(も)た(た)ち(ち)は(は)、お(お)互(たが)い(い)に(に)再(さい)会(かい)を(を)喜(よろこ)び(び)合(あ)っ(っ)て(て)い(い)ま(ま)し(し)た(た)。そ(そ)し(して)わ(わ)い(わ)い(わ)が(が)や(や)が(が)や(や)お(お)し(し)ゃ(ゃ)べ(べ)り(り)し(し)な(な)が(が)ら(ら)の(の)楽(たの)しい(い)お(お)菓(か)子(し)作(つく)り(り)の(の)時(じ)間(かん)を(を)過(す)ご(ご)し(し)、み(み)ん(ん)な(な)で(で)盛(も)り(り)あ(あ)が(が)り(り)ま(ま)し(し)た(た)。

こ(こ)の(の)会(かい)で(で)は(は)、社(しゃ)会(かい)人(にん)に(に)な(な)っ(っ)て(て)活(かつ)躍(やく)し(して)い(い)る(る)先(せん)輩(ぱい)た(た)ち(ち)も(も)参(さん)加(か)し(して)い(い)ま(ま)す(す)。先(せん)輩(ぱい)た(た)ち(ち)の(の)経(けい)験(けん)を(を)聞(き)き(き)な(な)が(が)ら(ら)お(お)互(たが)い(い)の(の)悩(なや)み(み)を(を)相(そう)談(だん)で(で)き(き)る(る)関(かん)係(けい)づ(づ)く(く)り(り)が(が)で(で)き(き)る(る)会(かい)に(に)育(そだ)て(て)い(い)き(き)たい(たい)と(と)思(おも)い(い)ま(ま)す(す)。

ハロハロ☆ikoryu インドネシア day

日(にち)時(じ): 9月(げつ)3日(にち) 10:00~13:00
 場(ば)所(しょ): たけまるホール 調理室
 内(ない)容(りよう): インドネシアの料理を作(つく)って交(こう)流(りゅう)し(し)よ(よ)う(う)
 講(こう)師(し):
 食(しょく)材(ざい)費(ひ): おとな 800円
 子(こ)も(も) 400円(小学生以上)
 参(さん)加(か)申(もう)込(こ)み Email info@ikoryu.net で
 8月(げつ)27日(にち)ま(ま)で(で)お(お)願(ねが)い(い)し(し)ま(ま)す(す)

今年も ikoryu サマースクール

かいさい 開催します

まいとしなつやす 毎年(まいねん)夏(なつ)休(やす)み(み)に(に)開(かい)催(さい)し(して)い(い)る(る)、ikoryu サマースクールを(を)今(いま)年(ねん)も(も)下(した)記(ぎ)の(の)予(よ)定(てい)で(で)開(かい)催(さい)し(して)ま(ま)す(す)。サマースクールで(で)は(は)、夏(なつ)休(やす)み(み)の(の)学(がく)習(じゅう)の(の)お(お)手(て)伝(でん)い(い)や(や)日(ひ)ご(ご)ろ(ろ)の(の)学(がく)習(じゅう)で(で)分(わか)ら(ら)ない(ない)と(と)ころ(ろ)な(な)ど(ど)を(を)教(おし)え(え)ま(ま)す(す)。外(がい)国(こく)に(に)ル(る)ー(ー)ツ(ツ)を(を)持(も)っ(っ)小(しょう)学(がく)生(せい)・中(ちゅう)学(がく)生(せい)の(の)皆(みな)さん(さん)、せ(せ)ひ(ひ)ご(ご)参(さん)加(か)く(く)だ(だ)さい(さい)。

日(にち)時(じ) 7月(げつ)29日(にち) (土)・30日(にち) (日)
 10:00~15:00まで

場(ば)所(しょ) たけまるホール 研修室4・5

持(も)ち(ち)物(ぶつ) 夏(なつ)休(やす)み(み)の(の)宿(しゆく)題(だい)・問(もん)題(だい)集(じゅう)

筆(ひ)記(ぎ)用(よう)具(ぐ)・お(お)弁(べん)当(とう)

同(どう)時(じ)開(かい)催(さい) 高(こう)校(こう)進(しん)学(がく)説(せつ)明(めい)会(かい)

7月(げつ)30日(にち) (日)
 10:00~12:00

研(けん)修(しゅう)室(しつ) 2

※ 小学生・中学生への学習ボランティアを募集します。
 連(れん)絡(らく)先(せん) Tel 090-8237-2463 (夜間のみ)
 Fax 0743-74-3190

ほんねんど かつどうよてい ikoryu本年度の活動予定

7月	8日	土	ハロハロ☆デティクラブ 2017年度 ikoryu定期総会
	29日	土	サマースクール
	30日	日	サマースクール こうこうしんがくせつめいかい 高校進学説明会
8月	5日	土	いこまどんどこまつり ちゅうがくせい こうこうせいこうりゅうかい 中学生・高校生交流会
	3日	土	ハロハロ☆ikoryu
9月	9日	土	ハロハロ☆デティクラブ
	14日	土	ハロハロ☆デティクラブ
11月	12日	日	第16回わいわいワールド
12月	9日	土	ハロハロ☆デティクラブ
	3日	日	第11回ikoryu音楽祭
1月	13日	土	ハロハロ☆デティクラブ
			ちゅうがくせい こうこうせいこうりゅうかい 中学生・高校生交流会
3月	4日	日	ハロハロ☆ikoryu

がいこくじんしみん
外国人市民への
いこまし
生駒市からの郵便は、
ほんみやう とど
本名で届けることができます。

これまで、生駒市から、外国人市民に届く公文書について、通名と本名が登録されている場合には、通名優先で名前が書かれて郵送されていました。いこま国際交流協会では、公文書の名前に通名が優先されるということは、大事な本名が軽視され民族性が否定されてしまうことにつながるのではないかと疑問を持ち、生駒市と話し合いを持ってきました。

その結果、生駒市のコンピューターが通名優先になるように設定されているためであるという、システム上の問題であることがわかりました。

本協会では、本名が消されることがないようにコンピューターシステムの改善を生駒市に要請してきましたが、ようやく本年3月に生駒市のコンピューターシステムの改善が実現しました。

今後は、外国人市民が市役所からの郵便物の着信宛名などの公文書上の名前を、窓口であらかじめ、本人が選択できるようになります。

多文化共生社会実現に向けて生駒市の取組が大きな一歩となり他郡市にも広がっていくことを願っています。



～つれづれトーク～

昨年度2回ゲストティーチャーとして生駒東小学校に行かせていただきました。そこで出会った子どもたちと生駒駅前やハロハロ☆デティクラブで会う機会がありました。「韓国の先生や！」と親しげに声をかけてくれる子どもたち。外国人市民のゲストティーチャーとそんな自然な関係が結ばれると嬉しくなります。

これからも子どもたちをはじめとして生駒に住むたくさんの皆さんに外国人市民との素敵な出会いの場を作っていきたいと思っております。

たぶんかきょうせいきょういく げんぼ
<多文化共生教育の現場から>
スイスの日本語学校事情

ならきょういくだいがくきょうじゆ しほや まき
奈良教育大学教授 渋谷 真樹

スイスでは、ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語の4つが公用語です。学校では、独・仏・英語を学ぶことが多く、バイリンガル、トリリンガルは珍しくありません。お父さまが日本人で、スイスに生まれ育ったタレントの春香クリスティーンさんも、4カ国語を操るようですね。

そんなスイスには、国際結婚や仕事でスイスに住む日本人の親達がつくった日本語の教室や学校が複数あります。近い将来日本に住む予定のない子ども達が日本語を続けるためには、親の信念が大切です。親や祖父母とのコミュニケーションや日本人としてのアイデンティティのために、日本語で育てる親が多いようです。

マンガやドラマ、ゲームを日本語で楽しんだり、日本の友だちと交流したりすることも、子どものモチベーションをあげます。

スイス人の家族や親戚の協力や、クラスメートや担任の励ましも欠かせません。さらに、スイスには、多言語は社会の宝だという考えがあり、行政が母語教育を支援していることも大きな後押しになっています。



♡ 多文化共生・国際都市「いこま」をめざして ♡
生駒市 外国人登録者数 58 カ国 1,086 人

(2017. 4. 1 現在)

ikoryu会員随時募集中!

- 正会員 個人 1口 3,000円 (年会費)
 - 団体 1口 10,000円 (年会費)
 - 賛助会員 1口 1,000円 (年会費)
 - 会費納付先 郵便振替 00940-0-192898
- 加入者名 いこま国際交流協会
会員になると ikoryu主権の 催しの参加費が無料
または割引になります。